

令和7年度 卒業論文要旨

学 生 氏 名	冷水 まなみ
論 文 タ イ ト ル	人物の視線方向が対象物への注視に及ぼす影響 —広告を想定した静止画と動画を用いた視線追従の検討—
要 旨	<p>人物の視線方向を手がかりとして、他者がその視線の先に注意や視線を向ける行動は、視線追従と呼ばれる。本研究の目的は、視線追従の広告への応用を目指し、人物の視線の向きがその方向に位置する対象物への注視を増加させるかを明らかにすることであった。静止画を用いた実験において、人物が缶ジュースへ視線を向けていることは、その缶ジュースへの閲覧者の注視時間を延ばすことが示された。動画を用いた実験では、人物が視線を向けた缶ジュースと、視線が向けられなかった缶ジュースとの間で注視時間と注視回数に有意な差は認められなかった。動画においては、人物が視線を向けるタイミングが視線追従の生起に影響を及ぼした可能性がある。静止画において特定の対象物への注視が増加したことは、視線追従が広告に応用可能であることを示す結果である。特定の対象物に視線を集めたい場合、人物の視線方向を操作することは、有効な手法の1つとなり得る。</p>